

建設水道委員会会議録

1. 開催年月日

平成29年 3月10日 開会 9時58分 閉会 10時45分

2. 開催場所

委員会室

3. 出席委員名

惣台己吉 柳井一徳 西田久志 大滝文則
井口勇 森下金三

4. 欠席委員名

なし

5. その他の会議出席者

(1) 議長 上野安是

(2) 説明員

| | | | |
|-----------|------|-------------|------|
| 副市長 | 三宅生一 | 建設経済部長 | 三宅道雄 |
| 水道部長 | 妹尾福登 | 建設経済部次長 | 橋本良啓 |
| 水道部次長 | 谷本悦久 | 建設経済部地域創生参与 | 妹尾光朗 |
| 建設経済部参与 | 武田吉弘 | 芳井支所長 | 三宅孝一 |
| 美星支所長 | 金高常泰 | 上水道課長 | 田中伸廣 |
| 上水道課長補佐 | 井岡和浩 | 下水道課長補佐 | 藤井義信 |
| 都市建設課管理係長 | 西本勝志 | 都市建設課建築住宅係長 | 片山恭一 |

(3) 事務局職員

| | | | |
|------|------|-------|------|
| 事務局長 | 川田純士 | 事務局次長 | 岡田光雄 |
| 主査 | 柳本兼志 | | |

6. 傍聴者

(1) 議員 森本典夫

(2) 一般 0名

(3) 報道 0名

7. 発言の概要

委員長（惣台己吉君） 皆さん、おはようございます。

ちょっと早いようですが、皆様お集まりなので、ただいまから建設水道委員会を開会いたします。

初めに、副市長のごあいさつをお願いします。

副市長（三宅生一君） 皆さんに、改めましておはようございます。

梅の香のにおう、本当に弥生3月を迎えて、いい季節を迎えたなというふうにも思っているところでもあります。また、3月といいますと、どうしても思い出すのが東日本といいますか、東北の震災でありました。既に6年という月日が流れようというふうになっておるわけではありますが、今なお厳しい現実があり、また今なお行方不明の方が2,300人を超えているという現状もございます。ただただ、やはり復興を願ってやまないところがあります。

また、本市としましては、過日には東北に、消防には人命救助、水道には給水といった活動をやって、小雪の舞う非常に寒い苛酷な条件の中で、その支援活動もやってまいりました。また、熊本の地震あるいは鳥取の地震におきましては、給水活動あるいは建物の被災証明についての支援といった数々のもの、支援をやってきたというところでもありました。それぞれの地の早い復興を、これが待たれている、期待されているというふうにも思っております。

さて、この3月20日になりますが、春分の日ということで祝日でもありますが、井原駅ビル内あるいは駅前広場におきまして、井原デニムの直売所のリニューアルオープンということでのイベントが、被服協同組合を中心として企画をされております。市の職員もこの地域創生にかかわる当地のデニム、あるいは主要産業の底上げをしていこうということで、地域創生課を初めとして、本当にここまで頑張ってきてくれているというふうにも、手前みそで申しわけないんですが、そういうふうな気持ちも持っております。

市あるいは内外から、多くの皆様方が集客していただくようお願いを申し上げたいというふうにも思います。当日はステージイベントに加え、屋台村、あるいは大田原市からなどのゆるキャラ、与一くんなどが参加してくれるというふうにも聞いております。ぜひとも皆様方にもお声がけをいただいて、多くの方々にイベントを盛り上げてほしいなというふうにも思っております。

さて、そうした中、本日は建設水道委員会を開催をいただきました。皆様方には何かとご多用の中、お繰り合わせをいただきまして、本当にありがとうございます。

この委員会に付託されております案件であります。条例案件が1件、認定が1件というふうなことでございます。皆様方には、十分、慎重に審議をいただきながら、なおかつ適切なご決定を賜りたいというふうにも思っております。

なお、お手元に本定例会の報告事項をお配りさせていただいております。皆様方には後ほどお目通しのほうをよろしく願いを申し上げます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

〈議長あいさつ〉

〈議案第 2 2 号 井原駅ビル条例の一部を改正する条例について〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

〈議案第 2 5 号 市道路線の認定及び変更について〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

委員長（惣台己吉君） 以上で審査は終了いたしました。

なお、委員会報告書の作成につきましては、委員長にご一任願いたいと思います。

〈異議なし〉

〈所管事項に関する執行部からの報告〉

〈井原市簡易水道事業経営戦略の策定について〉

委員（柳井一徳君） 1つお尋ねしたいんですが、4番の主な内容の（1）水需要予測で、平成29年からは給水人口が6,000人代に突入していくわけですけれども、総有収

水量が微増ですけどふえていくというご説明でした。この人口が減っていく中で有収水量がふえていくという根拠といますか、予測をされた根拠というのは、どういうところにあるのかとお尋ねいたします。

上水道課長（田中伸廣君） 人口が減少していきますが、総有収水量ふえていくのはなぜかという問いですが、要因としましては、美星地区の生活原単位、1人1日当たりの使用水量が現在増加傾向にあります。それを増加方向に見て、あと芳井地区の中央かん水区域の中に、特環公共下水の普及がどんどん進んでいるということで、1人当たりの使用水量が伸びていることを考慮して、簡易水道全体で総有収水量が微増傾向というふうに考えております。

委員（森下金三君） 主な内容の中に書いてあるんですけど、1番、3番の経営基盤の強化という中で、最後の辺に公表性、公平性、安定性、経済性を考慮した適正な水道料金に勤めますということですが、将来的な、今水道料金というのは各地区においてばらばらになっておりますわな。それを将来的にそれこそ10年間にわたって料金が統一、それこそ井原市のような統一できる環境になるんですか、それとも若干下がったままの状況で、今のような状況で行けるんですか、10年間の計画の間には。

上水道課長（田中伸廣君） 料金のことについての問いですが、一応、平成29年、来年度になりますが、簡易水道の試算調査を全部行いまして、公営企業会計、独立採算で営業する公営企業会計のほうに移行するということから試算調査を行って、適正料金をそれから算出して、どうなっていくかというものを検証していきますので、今現段階でおのおのかん水がこういうふうになっていくという数字はわからないんですが、統合していくという中では一本化を検討していくという、料金も一律になるという検討をこれから進めていくということになります。

この計画期間の10年間の中でどうなっていくかというのは、今の現在の段階ではまだ出ておりません。

〈なし〉

〈井原市公共下水道事業経営戦略の策定について〉

〈なし〉

〈所管事務調査〉

委員長（惣台己吉君） 本日の所管事務調査事項はございません。

このほかに不測の事態により緊急に所管事務調査事項として追加すべきと思われる提案がございましたらご発言をお願いいたします。

〈なし〉

委員長（惣台己吉君） 所管事務調査事項を終わります。

ここで、執行部の方にはご退席願いたいと思いますが、何かございましたらお願いいたします。

副市長（三宅生一君） 終わりに当たりまして、一言お礼を申し上げたいというふうに思っています。

委員の皆様方には終始熱心に議論いただきました。また、適切なご決定を賜りましたこと、厚くお礼を申し上げたいというふうに思います。いただきましたご意見等につきましては、市政の推進に役立てていきたいというふうに思っております。

さて、春はまだ浅いわけではありますが、寒暖の差もまた激しいという状況でもございます。皆様方にはくれぐれもご自愛をいただきながら、心温まるこの春を迎えられますようご祈念申し上げまして、お礼のごあいさつとさせていただきたいと思っております。本日はどうもありがとうございました。

※執行部退席

〈その他〉

〈所管事務調査の次期建設水道委員会への引き継ぎについて〉

〈次期委員会に報告書を渡すことに決定〉

〈議会への提案について〉

・番号 1

〈別紙回答（案）のとおり決定〉

〈議長あいさつ〉

委員長（惣台己吉君） 以上で建設水道委員会を閉会いたします。ご苦労さまでした。

○議会への提案について

番号 1

| 回収場所 | 記入日 | 内 容 |
|---------|-------|--|
| 市役所 1 階 | 2月26日 | 矢掛は行政職員100名前後の「町」であるが、何と全国の県外者から「倉敷の奥座敷」という地域創生的発想から造語されたアピール用語が定着している。 行政区域は倉敷市ではないのに、地域ブランドとしての地域名、イメージを創造的に生かして、交流人口・滞在型観光を伸ばさせている。 わが井原市にも、歴史、民俗、産業、美星・芳井も含めた観光資源が眠ったように在り、地勢的にも住民台帳ベースでの定着につなげる、自然、気候、保健福祉資源が所在する。 地方行政の根幹は”地域創生” 是非とも戦略的に施策を！ |

回答(案)

この度は、井原市議会へご提案いただきありがとうございます。

現在、井原市は田中美術館、中世夢が原、日本三選星の名所に選ばれた星空を生かした美星天文台などの観光・文化施設や天神峡などの景勝地、さらには「デニムの聖地」として整備が行われ「井原デニム」の発信拠点となる「井原デニムストア」が井原駅ビル内に完成するなど、さまざまな観光資源を有しており、このような観光資源の情報を広く発信し、観光客や交流人口の増加をめざし施策を展開しています。

また、井原市の魅力を更に高めるために、観光施設の周辺整備を進めるとともに、観光資源のネットワーク化を図るため、備後圏域及び高梁川流域と連携し、広域観光ルートの調査・研究に取り組んでいます。

そして、市外でのイベントや移住相談会など様々な機会、災害の少ない温暖な気候や自然豊かな環境などの暮らしやすさをアピールするとともに定住・移住支援施策を展開しています。

議会におきましても、市民の皆様の意見を伺い、また情報の集積を図りながら更なる地域創生の提案を行い、市政発展のため活動してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。